

平成 27 年度

(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会

第 1 回理事会

日時 平成 27 年 4 月 16 日 (木)

午後 3 時 15 分～午後 5 時 00 分

場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所

平成 27 年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第 1 回理事会

日 時 : 平成 27 年 4 月 16 日(火) 午後 3 時 15 分～午後 5 時 00 分

場 所 : (一社)静岡県臨床衛生検査技師会事務所

出席者 : 現在役員数 20 名 (理事 18 名・監事 2 名)

三宅和秀 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 三原利仁
山田哲司 杉澤きよ美 井川千春 都築農夫志 市川千津子
新村喜明 清水憲雄 伊藤喜章 豊田次郎 川口貴子
梶間弘美 (書記) 榛葉智之 渡辺時治 (監事)
(18 名/全 20 名中 うち理事 16 名/全 18 名中)

欠席者 : 加藤智行 稲村義男

議長及び議事録署名人選出

議 長 三宅和秀
議事録記名人 鈴木雅人 藺田明広 山口浩司
榛葉智之 渡辺時治 (監事)

議題

1. 前回議事録確認
2. 常務理事会報告
3. 精度保証関連 (P.1～)
4. 検体採取研修会関連
5. 日臨技関連 (P.4～)
6. 部局報告
 - ・ 組織部 (別冊)
 - ・ 学術部 (P.14～)
 - ・ 広報部 (P.15～)
 - ・ 会計部 (P.18～)
 - ・ 事務局 (P.29～)
 - ・ プレゼン資料 (P.51～)
7. その他
 - ・ 会員の異動
 - ・ 予定
 - ・ その他

次回理事会 (平成 27 年 6 月 6 日 書記: 都築理事)

議題

1. 前回議事録確認（伊藤事務局長）

- ・ 昨年度最後の常務理事会および理事会の議事録が完成し、本日をもって昨年度分が終了した。

2. 常務理事会報告（三宅会長、山口副会長、藪田副会長、鈴木副会長、三原理事）

①中部圏支部医学検査学会

- ・ ポスター案について：四角と三角を用いて富士山と三保の松原を描いたものが提示された。シンプルでインパクトのあるものを、をコンセプトに作成された。このデザインは抄録の表紙にも用いられる。意見は今週中に事務局まで伝えて欲しい。
- ・ 事前に配布されている学会案内について：各施設に残っている場合、各県へ配布したいため事務所に中北便で送ってほしい。
- ・ 実行委員役割任務表および実行計画案について：後援申込は順調で、お礼状および請求書を準備している。演題募集はまだ5演題のみ、参加者の確保もお願いしたい。6月の中部圏支部の会議までには、式典および懇親会も含めて詳細を検討しておきたい。実行計画書は未着手である。各担当者は、実行計画案の枠内に記載されている手順に則り、作成すること。
- ・ 詳細な役割については富山学会を参考に表を作成したため、各部門での活動をお願いします。進捗管理は山口副会長が行う。
- ・ 協賛について：藪田副会長より説明された。広告32社、展示、ランチョン・スイーツセミナー、協賛については資料のとおり。セミナーは生理検査分野の内容がないため気にかかっている。
- ・ 会場の配置について：幹部理事会におけるディスタンスとの打ち合わせにより、変更される予定である。エイアンドティーと東ソー株式会社のブースを繋げて欲しいと依頼があったことが会長より伝達された。
- ・ 高校生向け進学支援ガイダンス（案）について：日臨技から助成があるため、講師謝礼や記念品に充当する。プログラムは説明会および施設見学、ミニ講座などを予定しているが、詳細についてはまだ検討する必要がある。案内・ポスターについても案を作成、対象地域は県内全とする。体験コーナーは、日臨技からの予算5万円にとらわれず、顕微鏡を設置して血液像や病理標本を準備したり、DVD放映やiPadなどの活用も視野に入れたりし、興味を引くような計画を立てることとする。シスメックスから資料をいただき、配布することも可能。対象人数や雨天の場合の対応も検討する必要がある。
- ・ 車両展示は会場外から直接外に出られるが、雨と強風の場合は外を回る運用とする。
- ・ 抄録について：本文はMS明朝フォント11とするが、案内が間に合わず、ゴシ

ックで提出された場合は、抄録作成担当者が変更する。また、抄録内の後援団体の明記について、頁を挿入することとした。各部門から依頼された変更や広告挿入依頼に対し、随時更新を行なうことが望ましいこと、200 頁に収まるよう編集することが山口副会長から学術担当に依頼された。

②平成 27 年度定時総会議案書（伊藤事務局長）

- ・ 別冊のとおり、議案書案が提示され説明された。通常どおり、書面表決書はピンク色でミシン目入りとなる。以下の議案を理事全員で添削を行なった。
- ・ 第 1 号議案の事業経過報告について、各部の冒頭は統一した文言に事務局長が修正する。
- ・ 第 2 号議案の財務諸表には、収支計算書も挿入することとした。
- ・ 監査報告書に第 3 号議案と明記する。
- ・ 第 4 号議案候補者選考委員補充案：平成 26・27 年度という表記について議論され、任期中の補充案であることから、任期どおりこのままの表記とした。
- ・ 予算案を挿入し、次期総会は県学会と同時開催することを報告する。
- ・ 表紙には、開催場所の詳細（階、会議室）を明記する。
- ・ 報告する理事は議案書持参のこと。
- ・ 20 日には印刷に提出するため、17 日中に確認し事務局長に送付すること。
- ・ 総会を成立させるために、書面表決を集めることに注力されたい。

3. 精度保証関連（三宅会長、菌田副会長、伊藤事務局長）

- ・ 精度保証施設認証の取得について、目標である 1000 施設が達成できていない。日臨技から、県学会の際に説明会を開催したい旨依頼された。
- ・ 静岡県では 21 施設。

4. 検体採取研修会関連（三宅会長）

- ・ 4/11・12 に名古屋で開催された研修会に実務委員として参加した。参加者 315 名が内容の濃い講義と実習を修了し、バッヂが配布された。6/13・14 も開催され理事が実務委員として参加する。引き続き、静岡開催を日臨技に依頼していくが、過去に地方開催された研修会で、厚労省から認められず再受講となった事例があるため、慎重に判断していく必要があるとのことである。

5. 日臨技関連（伊藤事務局長、三宅会長）

- ・ 各種表彰、定款の変更、生涯教育の申請事務処理、法律改正等通知を確認した。
- ・ 検体採取の勉強会について、各施設長あてに通知が届いている。
- ・ 膿の採取に関する疑義解釈が公表され、明らかに膿でなくても採取できることが明確化された。

6. 部局報告

1) 組織部より（山口副会長、都築理事、杉澤理事）

- ・ 各種表彰の候補者推薦、会員名簿の作成について報告された。
- ・ ホームページについて：新サーバへの更新に伴い、各学術部門のホームページ更新については本体変更も可能になってしまうため、部門担当者でなく、当面担当理事が行う。今後については、各部門独立したホームページを作成するか否か議論する必要がある。部門および会員名簿も作成すると年間 30 万円必要である。部門ごとに異なる容量での契約も可能であるため、無駄がないよう継続審議とする。
- ・ 昨年度の求人は 46 件であった。総会資料を変更することが確認された。

2) 学術部より（藺田副会長）

- ・ 県立総合病院から災害感染症対策セミナーについて後援依頼された。承認することとし、依頼書が提出され次第、後援承諾を送付することとなる。
- ・ 血液フォーラムが開催されるが、申込数が 150 名を超えた。会場変更も検討しているが、経費が増えるため、ランチョンセミナーもしくはテキストへの広告協賛を検討したい。テキストの内容が発表原稿そのものであるような質では広告協賛を依頼できないが、内容を提示しメーカーが賛同すれば可能となることが確認された。
- ・ 学術部門と精度管理部門が調和を取り精度管理の向上を図る目的で、統一化に関する意見を集約しているところである。
- ・ 臨床化学免疫血清部門の実務委員募集に関する理事会の関与について議論された。実務委員の交代については、他部門と同じように部門のなかで検討し解決する運用に変わりがないことが確認された。

3) 広報部より（鈴木副会長）

- ・ ゴールデンウイークが目前であるため、通常より早めに原稿の提出をお願いする。内容は中部圏支部学会の演題募集、総会のお知らせ等である。

4) 会計部より（豊田会計部長）

- ・ 平成 27 年度の会費が 1,448 名分集金されたが、4 名の退会が判明したため返金することとなる。
- ・ 日臨技から 2 件の研修会助成金が振込まれた。今年度より助成方法が変更され、1 研修会あたり 2 万円および参加 1 人あたり 500 円の合計金額で上限 5 万円であることが再確認された。

5) 事務局より（伊藤事務局長）

- ・ 平成 26 年度分の公益目的支出計画実施報告書の提出を、事業年度経過後 3 ヶ

月以内に行政庁に提出する必要がある。会計事務所に相談しながら作成するため、会計部が担当することとした。

- ・ 日本衛生検査所協会から医療フォーラム冊子が届いている。
- ・ 事務所のコピー機のリース期間が満了するため、リース会社から新たな提案があった。新機種に変更することで安価になるため、提案を受入れ5年契約することが承認された。1台体制で困った事例があったため、今後バックアップのプリンタの購入について検討していく必要がある。
- ・ 事務所の火災等の総合保険を更新する。
- ・ ヤマトのダイレクトメールの運用が変わる。
- ・ 事務所ビルの消防設備定期保守点検のため、4月25日、ベランダに点検者が入る。
- ・ 新入会、退会のリストが提示され、承認された。1名が会報への掲載を拒否しているため、リストの取り扱いを注意して欲しい。
- ・ 5月から7月迄の行事予定が提示された。

6) プレゼン資料（山口副会長、三宅会長）

- ・ 2018年の全国学会に手挙げするためのプレゼン用資料が作成され、提示された。内容について承知してほしい。

7. その他（三宅会長、杉澤理事）

- ・ 中部圏支部学会で講演していただくFDAより、往復航空券のチケットをいただいている。聴講者があたるような運用としたい。
- ・ 静岡専門学校の入学式に会長が参加した。静岡県で最初で唯一の学校であり、技師会として応援していく。
- ・ 臨床検査の外部委託業者から各施設への容器提供が廃止される。今後は一本単位での販売も検討されている模様。
- ・ 中部圏支部学会2日目の朝8時から宮島会長を囲む会を開催したいと、会長から要望された。主旨によって、時間帯も含め検討する

以上

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 三宅 和秀

氏名 _____ 印

議事録署名人

鈴木雅人 藺田明広 山口浩司 榛葉智之 渡辺時治

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印